



「認知症を抱えて生きていく」 をともに創る。

どうせ理解できない、忘れてしまうと思いきず、本人が持つ力を信じる。
どんな時も本人主体で、本人が理解し納得した上での行動の大切さを、次世代にも伝えていきます。

3

本人の問いに真摯に応えたことが、
本人が自分の力で納得するための助けになった。
本人がすぐに忘れてしまうのは、つらい現実ではあるけれど、
また同じような場面に遭遇しても、本人が求める限り何度でも応えたいと思う。

8 半月後、金山さんのもとへ、ご家族が改めて挨拶に。Aさんが穏やかに過ごしていると聞いた。

金山さん、ありがとうございます。言わなきゃいけないと思っていましたが、どうしても言えなかったんです…

7 翌朝、Aさんは、昨晚のことを全て忘れていて、すっきりした表情で事業所をあとにした。

お役に立ててよかったです。Bさんもお元気で!

2

6 認知症や引っ越しのことなど、今の状況に納得できたAさんは安心して眠りにつくことができた。

…Aさんは、ご主人の転勤で、明日引っ越すんです。そして特別養護老人ホームに入ることになっています。

…認知症は今の医学では、治らないんです…

…そんな…わかったわ。じゃあ、私、認知症を治してまたここへ戻ってくるわね。

…そうなのね。

5 金山さんは、Aさんと分かり合えたからこそ、明日の入所について伝えることを決心。

旦那さんも何度も話そうとしたけれど、どうしても言えず悩んでいました。夫婦だからこそ言えないこともありますよね。

…そう、私、認知症なのね。本当のことを教えてくれたのはあなたが初めてだわ。ありがとう。

そうね、言えないわよね。金山さん、明日からもよろしくお願ひね。

4 深夜2時まで話は続き、Aさんは少しずつ自分が認知症であることを理解してきた。

ご家族で、どなたがいらっしゃるかわかりますか？
ご家族のお名前、わかりますか？

…

3 いろいろな質問を受けたものの、答えられないAさん。

いまから失礼な質問をたくさんします。でもAさん、本当のことを知りたいとおっしゃったので言いますね。いいですか？

はい、教えてください。

まず、私は介護福祉士で、ここは介護の場所です。あなたの保険証には何て書いてありますか？

要介護1、アルツハイマー型認知症って書いてあります。

そんなわけないじゃない!

そうですね。Aさんは認知症なんです。

2 Aさんが落ち着き椅子に座ったので、金山さんは話し始めた。

1

本人は帰りがっている!
真実を知りがっている!
本人の意志を尊重し、本人の言葉に向き合うことを決心。

今頃、妻は帰宅できないことを不安に思っているだろうか…

無事、明日、特別養護老人ホームに入所してくれるだろうか…

…わかりました。なぜAさんがここに泊まるのかお話しするので、お座りください。

帰して私はなんで帰れないの?!

1 夜11時、Aさんが、いつもと違う雰囲気を感じ、やがて帰りたいと強く訴える。

特別養護老人ホームへの入所を明日に控え、ユアハウス弥生に宿泊していたAさん。
しかし、Aさんは、入所のことも、自分が認知症であることも知らないでいた…

<p>ユアハウス弥生 介護福祉士・社会福祉士 金山 峰之 さん 介護職勤務年数…14年</p> <p>母親が介護施設のボランティアをしていたため0歳から介護現場を肌で感じる。大学進学時、ちょうど介護保険制度ができる直前で介護業界が盛り上がりつつあったことから、日本社会事業大学社会福祉学部へ進学。卒業後、大手介護企業、NPO法人ホッとスペース中原を経て、現在は小規模多機能型居宅介護ユアハウス弥生の部長を務める。モットーは「生涯現役、生涯現場」。</p>	<p>認知症 Aさん</p> <p>医師からも家族からも認知症だとは知らされていない。普段から夫に尽くし、家を空けることに抵抗を感じる責任感の強い方。金山さんが半年間かけて、本人がユアハウス弥生に宿泊できるまでの関係を築いた。その後、穏やかに半年が過ぎ、やっとユアハウス弥生にも慣れてきていたが、夫の転勤・引っ越しに伴い、特別養護老人ホームへの入所が決まっていた。</p>	<p>Aさんの夫 Bさん</p> <p>会社勤めのサラリーマン。夫婦で仲が良かったが、Aさんが認知症であることを告げられずにいた。認知症発症初期は、娘と協力して自宅介護をしていたが、限界を感じ、娘さんがユアハウス弥生に相談。それから1年後、Bさんの転勤が決まり引っ越しすることになった。それを機に、Aさんを特別養護老人ホームに入所させることを決意した。</p>
---	--	--

介護では、本人の力を信じ、本人主体に徹することが大切と実感。

本人を尊重した対話により、Aさんは現況を理解する。

Aさんの強い意志と言葉に向き合う決心をする。

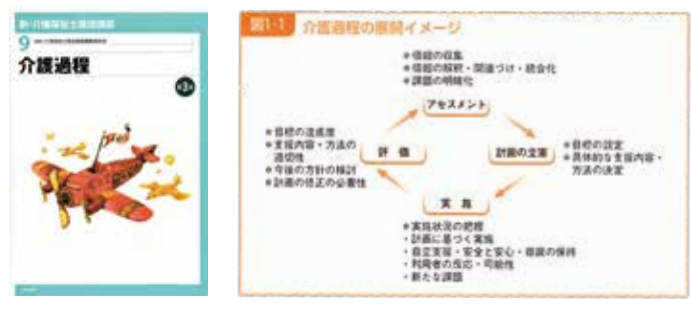
株式会社 ケアワーク弥生・ ユアハウス弥生

東京都 文京区

1953年から続くケアワーク弥生が2006年に開設した小規模多機能型居宅介護事業所。小規模多機能型居宅介護とは、本人の身体の状態や環境変化、希望に応じて「通い」「訪問」「泊まり」を柔軟に組み合わせ利用できる介護のこと。サービスによって介護事業者を変更する必要がないため、信頼関係の築けたスタッフから一貫した介護を受けることができる。

介護過程

相手が望む「よりよい生活」「よりよい人生」を実現するという、介護の目的を達成するために行う、「アセスメント→計画の立案→実施→評価」という一連の思考過程のこと。金山さんは、介護業界に入った時にひたすらこの過程を叩き込んだ経験が、その反響がいまの金山さんの介護のベースとなっている。



出典：中央法規出版(2015)『新・介護福祉士養成講座「9介護過程第3版」』